



岐阜のマチュピチュと呼ばれる上ヶ流地区の茶畑

マチュピチュはペルーにある古代インカ帝国の遺跡で、「天空の城ラピユタ」のモデル地としても有名です。そんな雲海に浮かんだ幻想的な絶景が望める「日本のマチュピチュ」と呼ばれる名所は、岡山県の竹田城跡や福井県の越前大野城などが有名ですが、今、ひそかに注目を集めているマチュピチュは岐阜県にもあります。



揖斐川町上ヶ流地区

岐阜県揖斐川町上ヶ流地区は、岐阜森林管理署が管理する足打谷国有林と檜原谷国有林の間に挟まれた山あいの小さな集落です。

海拔三〇〇メートルの高地に位置し、寒暖の差が激しく霧が多い地域のため「上ヶ流茶」の生産地として知られています。四方を山に囲まれ「天空の遊歩道」が整備されており、標高四四〇メートルの絶景スポットから眼下に広がる鮮やかな一面の茶畑はまさに一枚の絵画のようです。



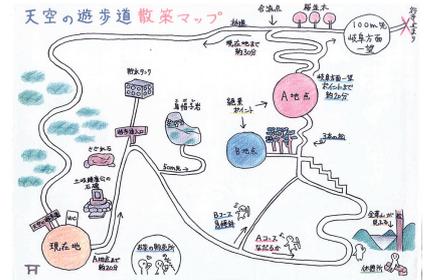
手作り看板で来訪者を案内

絶景スポットまでの遊歩道は地元の方々のボランティアで整備されました。周辺にはコンビニはもちろん自販機もありますが、住民手作りの案内板や散策マップ、簡易トイレが設置されており、多くの人に足を運んでもらいたい！

この、地元の方々の熱い思いが至るところに込められています。

池田山

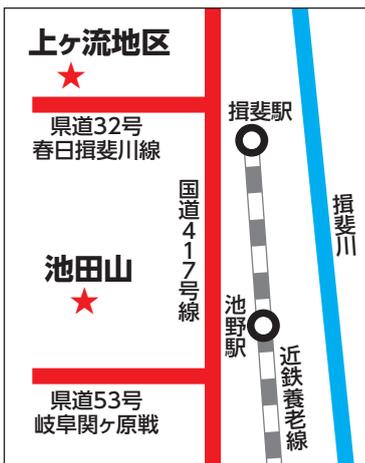
池田山（九二四メートル）は池田温泉（揖斐郡池田町）から通じる道路で頂上付近の「池田の森公園」まで登ることができます。山頂一帯は民有林ですが、山復を支える山裾は足打谷国有林で流域では林地の崩壊を防ぐ治山工事を行っています。



手作り散策マップ

ここからの眺めは、視界を遮るものが全くなく濃尾平野の大パノラマビューが広がります。

また、ここは知る人ぞ知るスカイスポーツのメッカで、頂上付近にはパラグライダー&ハンググライダーの発進基地があり、天気と風向きの良い休日には、色とりどりの鳥人がふわりと空中散歩をしている様子が見られます。美しい日本の原風景に感動し、



池田山から望む濃尾平野

同時に後世にも残したい。そんな思いがわき起こるこの場所へ、皆さんもどうぞ足を運んでみてください。

◆アクセス【自動車】

○上ヶ流地区
（岐阜県揖斐郡揖斐川町春日六倉）
養老鉄道揖斐駅から車で約二十分
○池田山（岐阜県揖斐郡池田町）
道の駅「池田温泉」から車で約二十五分